



B r a z i l

第二アリアンサ鳥取村派遣者報告会

★ ブラジル第二アリアンサ鳥取村の日本語学校に派遣している先生が、一時帰国に合わせて現地での体験を報告します。

★ 県立図書館では、交流の写真や関連グッズ、関連図書も展示します。
【展示タイトル】鳥取県が交流しているブラジルを紹介します！
【展示期間】令和5年3月1日(水)～5月30日(火)

3月26日
(日)

14:00～15:00
(開場13時40分)

会場／鳥取県立図書館 大研修室

鳥取市尚徳町101番地

講師／前田 昌宏(まえた まさひろ)

第14代日本語指導員

入場無料
定員:80名

【問い合わせ】鳥取県交流人口拡大本部 観光交流局 交流推進課 ☎0857-26-7030
※お越しいただく際は、マスクの着用等、新型コロナウイルス感染症予防対策をお願いします。

★報告会終了後、アーカイブ配信も行います。当課YouTubeチャンネルにてご覧ください。⇒



□日本語指導員派遣事業

1994年度(平成6年度)よりブラジルサンパウロ州第二アリアンサ鳥取村の日本語学校へ教諭等を派遣し、日本語指導や日本の社会事情・文化等に関する教育を行うとともに、現地の視察や、現地村民との交流を通じ、日伯両国の文化交流の推進を図っている。

□ブラジル第二アリアンサ鳥取村について

1924年(大正13年)に信濃海外協会がサンパウロ州ミランドポリス郡に5,500町歩(1町歩=1万㎡)の土地を購入して移住者を送り出した。これに続き、鳥取県海外協会、熊本県海外協会、富山県移住協会などが相次いで隣接地に土地を購入し、サンパウロ州奥地に一大移住地が形成された。鳥取県はサンパウロ州の奥地に3,000町歩の土地を購入して移住者を送り込んだ。この移住地はポルトガル語で「協同・同盟」を意味する「アリアンサ」という名称がつけられている。

主催：鳥取県／鳥取県立図書館